

オンライン  
開催

各事例について話を聞くだけではなく、参加される方それぞれの地域に合わせた事業の立案まで行う、クレアのローカライズ研修です。

# 令和3年度 ローカライズ研修

日本語教育の推進にむけて  
～地域の実態に即した取り組み方を考える～

第1部：7月 7日（水）13:20～17:00

第2部：7月21日（水）13:30～16:00

総括ファシリテーター 大森 容子氏

（公益財団法人 滋賀県国際協会）

## 事例Ⅰ【空白地域での日本語教室の立ち上げ】

「空白地域での日本語教室の立ち上げ—行政と共に創る地域日本語教育—」

発表者：岡山大学学術研究院 中東 靖恵氏

総社市人権・まちづくり課 黒瀬 啓介氏

## 事例Ⅱ【オンラインによる日本語学習支援】

「ウェブ会議システムによる遠隔地での日本語学習支援事業」

発表者：公益財団法人愛媛県国際交流協会 伊藤 優子氏

## 事例Ⅲ【日本語教育と他事業の連携】

「日本語教育の拡充と防災教育から広げる多文化共生のまちづくり」

発表者：高知県国際交流協会 近藤 快子氏

## 第1部 ローカライズのポイント・各事例の概要説明

ローカライズする際の考え方と、3つの事例の概要を学ぶ  
各テーマごとに事例発表者からグッドプラクティスである  
秘訣・ポイントを聞く

## 中間課題 各事例の地域での実践を考える

事前課題及び第1部での学びを基に、各自グッドプラクティスのポイントを地域で応用した事業を立案する

## 第2部 各テーマごとで共有・検証

中間課題で作成した各参加者の事業立案シートについて、共有し、意見交換を行い、ローカライズの実践をより具体的にイメージする

定員：21名（各事例7名）

対象：自治体、地域国際化協会、市区町村国際交流協会の職員

開催方法：Zoomオンライン会議システム

### お申込方法

Googleフォームにより申し込みください→

(<https://forms.gle/mWa2vuJndmoBfb51A>)

または、申込書を [tabunka@clair.or.jp](mailto:tabunka@clair.or.jp)宛お送りください

問い合わせ先

（一財）自治体国際化協会 多文化共生部多文化共生課

[tabunka@clair.or.jp](mailto:tabunka@clair.or.jp) / TEL:03-5213-1725 担当:伊藤・ローラ



一般財団法人

自治体国際化協会